

科目名	幼児と言葉				担当者名	八木 雄一郎	
	幼2種 (必修)						
ナンバリング		授業の種類	演習	単位数	1	開講時期	1年・②
授業内容	人間にとっての言葉の意義や機能と乳幼児の言葉の発達過程について解説したうえで、言葉に対する感覚を豊かにする実践について学習する。						
到達目標	幼児の発達における児童文化財の意義及び児童文化財の知識と活用について理解できる。						
授 業 計 画	回	内 容					
	1	幼児の遊びや生活における領域「言葉」の位置づけについて					
	2	言葉の意義と機能について					
	3	乳幼児の言葉の発達過程について					
	4	言葉の楽しさと美しさについて					
	5	言葉の感覚を豊かにする実践について					
	6	幼児の発達における児童文化財の意義と種類について					
	7	児童文化財の活用について絵本、物語					
	8	児童文化財の活用について紙芝居、人形劇					
成績評価方法と基準	評価方法	評価基準				割合	
	小テスト	授業の振り返り				50%	
	課題レポート	課題の趣旨を理解し、自身の考えを文章として適切にまとめられているか。				30%	
	提出物	課題の趣旨を理解し、求められたものを提出できるか				20%	
						%	
教科書	特になし						
参考図書	授業中に指示する。						
準備学習	授業後に課題を出すことがあるので、次時までに取り組んでくること(提出方法などは授業中に指示する)。						
課題等に対するフィードバック方法	提出された作文やレポートについては資料化し、受講者全体で共有できるようにする(授業時の教材とする)。						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間	1～2時間を推奨する						
その他 留意事項							
実務経験と資格等	信州大学教育学部准教授(「子どもと言葉」担当)						